

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 4 月 12 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '観光関係団体参画事業' and '観光の振興'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the '観光キャンペーン' and '観光PR' activities.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for years (27, 28, 29, 30, 31) and rows for ①手段, ②対象, and ③意図. Includes metrics like '観光キャンペーンの実施' and '茨城県の観光客入込客数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing cost breakdown by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs (正規職員, 非常勤) over the period.

Table showing '事業費の内訳' (Breakdown of operating costs) for 28 and 29 fiscal years, including '19 負担金補助及び交付金'.

Table with 3 columns for 29, 30, and 31 fiscal years, detailing implementation content (実施内容) for '観光の振興'.

事務事業名	観光関係団体参画事業	事務事業No.	50301000549	所属課	商工観光課
-------	------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

県観光物産協会は昭和58年、茨城県の観光地をPRするために設立。その後、昭和62年にJR東日本水戸観光連盟、平成8年に漫遊いばらき観光キャンペーン推進協議会が設立された。近年は交流人口(観光客)増による地域活性化が主要事業となってきている。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

特に無し

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

観光物産協会から発信される観光キャンペーン情報等により、茨城空港、北関東自動車道サービスエリアなどを活用し観光キャンペーンを積極的に行い、桜川市の観光資源のPRを行う。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	県やJRと連携することにより、市単独で行うよりも効果的な観光PRができています。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市の認知度が上がり誘客につながっている。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	JRとの連携を強めることにより、さらなる誘客を期待できる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	観光キャンペーン等を市単独で行うことにより、市の負担が大きくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	特に無し。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	人口割で負担金が決まるため、市単独での削減はできない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市の観光をPRするのもであり市全体の利益につながっている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	観光関係団体と連携し誘客に貢献した。 ・季節に応じて県内外で観光キャンペーンに参加。 ・JRと連携し駅からハイキングを桜の時期に実施。 ・JRの冊子にて真壁のひなまつりを宣伝。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr><td colspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr> <tr><td colspan="2"></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr> <tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr> <tr><td>低下</td><td></td><td></td><td>×</td></tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
市の進める「ヤマザクラの里」を中心としたキャンペーンを展開し、新たな観光客の誘致を図る。	(6) 事務事業優先度評価結果																							
	成果優先度評価結果																							
	コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>